

ここでは、私の履歴に加えて、これまで海外渡航歴を示します。

(2015年5月29日現在)

氏名：河野 博 (こうの ひろし)

生年月日：1955 (昭和30)年6月30日 (57歳)

学歴：

- 1974 (昭和49)年3月 愛媛県立宇和島東高等学校理数科卒業  
" 4月 東京水産大学水産学部漁業科入学  
1979 (昭和54)年3月 同 卒業  
" 4月 東京水産大学大学院水産学研究科修士課程入学  
1981 (昭和56)年3月 同 修了  
" 4月 東京大学大学院農学系研究科博士課程入学  
1984 (昭和59)年3月 同 修了  
" 4月 東京大学農学部研究生  
(1985年2月まで)  
1988 (昭和63)年4月 東京大学大学院農学系研究科研究生  
(1989年3月まで)

職歴：

1985 (昭和60)年2月～1988 (昭和63)年3月 国際協力事業団派遣専門家  
(東南アジア漁業開発センター養殖部局, フィリピン)

1989 (平成元)年3月～1991 (平成3)年3月 国際協力事業団派遣専門家  
(インドネシア浅海養殖研究所)

1991 (平成3)年7月～1995 (平成7)年7月 東京水産大学資源育成学科 助手  
1995 (平成7)年7月～2003 (平成15)年9月 東京水産大学資源育成学科 助教授  
2003 (平成15)年10月～2004 (平成16)年3月 東京海洋大学海洋環境学科 助教授  
(大学統合のため)

2004 (平成16)年4月～2004 (平成16)年3月 東京海洋大学海洋環境学科 准教授  
(国立大学から国立大学法人への移行のため)

2004 (平成16)年4月～現在 東京海洋大学海洋環境学科 教授

学位：

1981 (昭和56)年3月 水産学修士 (東京水産大学 第384号)  
「地中海産クロマグロとビンナガ仔魚の黑色素胞の分布パターン」

1984 (昭和59)年3月 農学博士 (東京大学農学部 第796号)  
「サバ科魚類の形態学的研究 (英文)」

## 海外渡航歴

1978年の学部4年生の時に、初めての海外旅行でフランス、イタリアの各地を巡り、マグロ類の研究のためにシシリア島にほぼ3か月滞在しました。それからは、ヨーロッパから東南アジアへと立ち位置を変更したものの、海外での魚類研究を続けてきました。しかし、1996年40歳の時に病気をしてから、海外での活動はソコソコにしております。

ここでは、初めての海外旅行からほぼすべての海外経験を記録しました。

1978	イタリア	マグロ類の研究	日本科学協会	3.0 か月
	フランス	国際会議出席 (イギリス経由)	日本科学協会	0.5 か月
1979	台湾	マグロ類の研究	日本科学協会	0.75 か月
	イタリア	マグロ類の研究 (モスクワ経由)	日本科学協会	3.0 か月
1980	イタリア	マグロ類の研究	日本科学協会	3.0 か月
1981		(博士課程在学中で、渡航歴なし)		
～1983				
1984	フィリピン	養殖視察	民間	0.75 か月
	ジャマイカ	F/S 水産生物保護	国際協力事業団	2.0 か月
1985	フィリピン	長期派遣専門家 (魚類養殖)	国際協力事業団	36.0 か月
～1988 (派遣期間中：タイ, シンガポールに出張)				
1988	タイ	プロファイ	民間	0.25 か月
	エジプト	プロファイ	民間	0.25 か月
	フィリピン	自主研究 (サバヒー)	私費	0.75 か月
	インド	プロファイ	民間	0.25 か月
1989	インドネシア	長期派遣専門家 (魚類養殖)	国際協力事業団	24.0 か月
～1991 (派遣期間中：タイ, マレーシア, シンガポール, 香港に出張)				
1991	フィリピン	自主研究 (サバヒー)	私費	0.5 か月
	フィリピン	自主研究 (淡水魚)	私費	0.5 か月
	インドネシア	汽水域調査	学術振興会	0.5 か月
1992	トンガ	計画打ち合せ (フィジー経由)	国際協力事業団	0.5 か月
	フィリピン	短期専門家	国際協力事業団	1.0 か月
	シンガポール	学会出席	私費	0.25 か月
	フィリピン	自主研究 (淡水魚)	私費	0.5 か月
	フィリピン	自主研究 (サバヒー)	私費	0.5 か月
1993	ブルネイ	ハタ養殖	日本国際協力機構	0.5 か月
	ブルネイ	ハタ養殖	日本国際協力機構	0.5 か月
	インドネシア	事前調査	国際協力事業団	0.75 か月
	インドネシア	汽水域調査と学会出席	学術振興会	0.75 か月
	フィリピン	水産局視察	民間	0.25 か月
1994	フィリピン	自主研究 (仔稚魚)	私費	0.25 か月
	フィリピン	自主研究 (仔稚魚)	私費	0.5 か月
	フィリピン	自主研究 (仔稚魚)	私費	0.5 か月
	インドネシア	計画打ち合せ	国際協力事業団	0.5 か月
	マレーシア	短期専門家	国際協力事業団	1 か月

1995	インドネシア	汽水域調査	学術振興会	0.3 か月
	マラウイ	事前調査	国際協力事業団	0.5 か月
	(オランダとイギリスで Transit, また大使館表敬のため ジンバブエとザンビアに立ち寄り)			
	オーストラリア	学会出席	私費	0.5 か月
	マレーシア	短期専門家	国際協力事業団	1.0 か月
	インドネシア	巡回指導	国際協力事業団	0.5 か月
1996	(病気のため、渡航歴なし)			
1997	フィリピン	自主研究	私費	0.3 か月
	ニューカドニア	学会出席	私費	0.25 か月
1998	タイ	国際学術研究	文部省	0.5 か月
	フィリピン	国際学術研究	文部省	0.25 か月
1999	トルコ	短期専門家	国際協力事業団	0.5 か月
	タイ	国際学術研究	文部省	0.5 か月
2000	タイ	国際学術研究	文部省	0.5 か月
	トルコ	短期専門家	国際協力事業団	0.5 か月
	(フランクフルト経由)			
	タイ	国際学術研究	文部省	0.3 か月
2001				
2002				
2003				
2004	フィリピン	資料収集	私費	0.3 か月
2005	台湾	学会出席	出張	0.3 か月
2006				
2007				
2008	フィリピン	資料収集	私費	0.25 か月
2009				
2010	カンボジア	資料収集 (自主研究)	私費	0.25 か月
2011	中国	資料収集 (万国博覧会)	私費	0.2 か月
2012	ベトナム	カントー大学との学術交流調印	公務	0.1 か月
2013	カンボジア	仔稚魚ワークショップ開催	MRC	0.25 か月

---